

**平成 30 年度 福井大学学術交流協定校への派遣留学生 募集要項**  
**2018 年 春 < 1~4 月 > 出発分**

1. 概要 : 福井大学では、世界各国の学術交流協定校と授業料相互不徴収による学生交流を行っています。派遣先の大学で、現地学生とともに正規開講科目を受講したり、語学集中コースの受講をすることにより、専門性や語学力の強化を図ることを目的としています。
2. 募集大学 : 本学の学術交流協定校（学生交流の覚書を締結している大学）  
※募集校は年度や学期によって異なります。応募にあたっては、最新の募集大学リストをご確認下さい。
3. 対象 : 全学部・全学科  
※応募にあたっては、各留学先大学及び本学が定める派遣要件を満たしている必要があります。応募前によく要件をご確認下さい。
4. 派遣期間 : 1 学期（半年）または 2 学期（1 年）
5. 授業料 : 派遣先大学における検定料、入学料および授業料は不徴収。  
※留学中も本学に在籍することになりますので、本学へ授業料納入が必須です。  
※語学集中コース等を受講する場合は、別途参加費が必要となる場合があります。
6. 単位 : 帰国後の手続きにより、派遣先大学で修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとして単位認定できる場合があります。
7. 奨学金 : 日本学生支援機構海外留学支援制度奨学金 対象  
福井大学学生海外派遣支援金 対象  
※詳細は、参考資料（P7）参照
8. 選考方法 : 書類審査及び面接審査（必要に応じて面接を実施する場合がある）  
※派遣留学生に選ばれた場合は、原則として辞退できません。
9. 提出書類 : ① 平成 30 年度 福井大学学術交流協定校交換留学 留学調査票  
② 留学申込書（所属別）  
③ 推薦書  
④ 留学計画書（工・医）／学習計画書（教・国）  
⑤ 語学能力を証明する書類の写し  
⑥ 留学に係る経費負担証明書  
⑦ 学業成績通知表  
⑧ 誓約書  
⑨ 健康診断書  
※ 指定の様式は、以下の福井大学ホームページからダウンロードが可能です。  
[http://www.u-fukui.ac.jp/international/study\\_abroad/long/information/documents/](http://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/long/information/documents/)

10. 応募方法：申込締切 平成 29 年 8 月 25 日（金）17：00  
（大学会館 1F／管理棟 1F 松岡キャンパス学務室内）に提出。

11. 今後のスケジュール

- |             |   |
|-------------|---|
| 7 月 26 日（水） | 交換留学募集説明会、募集開始                                  |
| 8 月 25 日（金） | 応募締切  |
| 8 月下旬       | 選考  |
| 9 月中旬       | 選考結果通知<br>※申し込み状況によっては、結果通知が遅れる場合があります。         |
| 9 月下旬～      | 各留学先大学への出願準備（郵送・オンライン申請等）<br>事前オリエンテーション実施（複数回） |

## 交換留学に関する参考資料

### ■ 交換留学出発までの流れ

交換留学ができる期間は1学期（半年）または2学期（1年）です。希望及び履修計画等に応じて留学期間を選択できます。留学開始時期は春期と秋期の年2回、留学先大学の学事歴に合わせて渡航します。また、それぞれの留学開始時期に応じて派遣学生の募集や出発前のオリエンテーションが行われます。

第1期（秋出発）		第2期（春出発）
※留学目的を明確にする ※行先（国、大学）、留学時期を決定		
留学説明会実施、募集開始	12月	
応募締切	1月	
選考	2月	
派遣可否・奨学金推薦順位決定 学内委員会にて留学承認		
「留学願」の申請		
各大学への申請手続き	2-4月	
オリエンテーション	3月	
各大学からの受入許可通知 ビザ取得	4-5月	※留学目的を明確にする ※行先（国、大学）、留学時期を決定
オリエンテーション	7月	留学説明会実施、募集開始
留学開始	8月	応募締切
	9-10月	選考 派遣可否・奨学金推薦順位決定
		学内委員会にて留学承認 「留学願」の申請
		各大学への申請手続き
	11月	オリエンテーション
	1月	各大学からの受入許可通知 ビザ取得
		オリエンテーション
	2月	留学開始
	3月	
	4月	
帰国、報告書提出	5月	
		帰国、報告書提出

## ■ 留学先大学について

福井大学から交換留学生として留学ができる大学は、原則として学生交流の覚書のある学術交流協定校のうち、大学間協定校及び自身が所属する学部の部局間協定校になります。但し、毎期の募集有無・募集人数・留学期間は異なりますので、必ず応募を行う期の募集情報を確認してください。

※各交換留学先の情報は、以下の福井大学ホームページで確認が可能です。

[http://www.u-fukui.ac.jp/international/study\\_abroad/long/exchange/partner\\_universities/](http://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/long/exchange/partner_universities/)

## ■ 派遣要件（学業成績・語学能力等）について

交換留学生として推薦されるためには、各留学先大学及び福井大学が定める要件を満たしている必要があります。入学後から直近までの累積学業成績や、英語能力をはじめとする語学能力試験の証明書の提出を求められることがあります（出願校によりますのでよく要件を確認してください）。受験会場や受験日は限られていますので、長期的な受験計画を立ててください。

福井大学の学術交流協定校は、英語圏に留まらず世界中に広がっています。英語能力試験以外でも派遣先によっては、現地語の学習歴の有無や日常会話能力が必要となる場合があります。

テスト名	特徴
TOEFL iBT	TOEFL iBT (Test of English as a Foreign Language internet-Based Test)は、米国で開発された英語力判断テストで、試験会場でインターネットを通して行われる。Reading, Listening, Speaking, Writingの4つのセクションに分かれ、所要時間は計4時間半程度。主にアメリカやカナダの大学に留学する際に必要になる。 CIEE(国際教育交流協議会) <a href="http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html">http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html</a>
TOEFL ITP	TOEFL ITPは、TOEFL PBTのテスト問題を受け継いで作成されているペーパーベース（マークシート多肢選択式）のテスト。TOEFL PBTのスコアとの相関性・妥当性が高いテストであるため、語学能力を示すスコアとして公式に扱われる場合も多い。TOEFL iBTは受験日や受験地が限られ、受験費用が高いのに対し、TOEFL ITPの団体受験であれば受験日や受験地を問わず、費用も6分の1で受けられる（福井大学でも年に複数回実施しています）。 CIEE(国際教育交流協議会) <a href="http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/index.html">http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/index.html</a>
IELTS	IELTS (International English Language Testing System)は、英国で開発された英語力判断テストで、Listening, Reading, Writing, Speakingの4つのセクションに分かれている。留学に際しては、アカデミックモジュールの受験が必要。TOEFL iBTと異なり記述式のテスト。主にイギリスやオーストラリアの大学で用いられている。 日本英語検定協会 <a href="http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html">http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html</a>
その他外国語能力試験（例）	韓国語：韓国語能力試験（TOPIK） <a href="http://www.kref.or.jp/examination">http://www.kref.or.jp/examination</a> 中国語：中国語検定（HSK） <a href="http://www.hskj.jp/">http://www.hskj.jp/</a> タイ語：実用タイ語検定試験 <a href="http://www.thaigokentei.com/">http://www.thaigokentei.com/</a> ドイツ語：ドイツ語検定試験 <a href="https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf.html">https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf.html</a> イタリア語：イタリア語検定試験 <a href="http://www.il-centro.net/wpd/イタリア語検定-plida/">http://www.il-centro.net/wpd/イタリア語検定-plida/</a>

※TOEICスコアは日本国外で、語学証明として有効ではない場合がありますのでご注意ください。

## ■ 危機管理について

海外渡航・滞在中の事故や病気に備え、本学が指定する海外旅行保険に必ず加入いただきます（クレジットカードに付帯している簡易な保険では不十分です）。また、留学先の国や大学が現地での保険加入を義務付けている場合もあります。その場合は、補償内容が異なりますので、必要に応じて両方の保険に加入いただきます。本学および各協定校は、万が一の事態が発生した際の援助について合意しています。短期・長期を問わず、海外留学を検討している方は、必ず渡航先の安全情報をご確認下さい。

【参考】 <http://www.anzen.mofa.go.jp/> （MOFA:外務省 海外安全ホームページ）

## ■ 交換留学にかかる費用

交換留学先の大学では、入学料や授業料の支払いは不要ですが、以下の費用は自己負担になります。

項目	おおよその費用
ビザ申請に関わる費用	自己手配いただきます。 申請費用：数万円（例：アメリカ学生ビザ US\$360） ※申請費用や申請方法は頻繁に変更になります。 ※申請にあたっては、各国のビザセンターに出向く必要があります。
往復航空運賃	自己手配いただきます。 欧米の場合：15～20万円程度。アジアの場合：3～10万円程度。
海外旅行保険	加入料：17万円～／約1年間 ※福井大学海外研修プログラム参加者は、福井大学が指定する海外旅行保険への加入を義務付けています。 ※国/地域や大学、加入期間によって費用は異なります。
滞在国/地域の健康保険 留学先大学が指定する キャンパス保険等	留学先の大学及び、滞在国/地域が加入を義務付ける場合があります。その場合、原則、上記の海外旅行保険と併せて加入する必要があります。
学生寮費・宿舍費	大学の寮に入寮できる場合も多く、自己手配より安価に滞在できます。 費用は各大学により異なります。
食費	国・地域、現地での活動内容によって異なります。自身の希望に合わせてミールプラン（寮食）を追加できる大学もあります。
生活費（食費、交通費、雑費、娯楽等）×滞在月数	国/地域、現地での活動内容によって異なります。

## ■ 単位

### <教育地域科学／教育／医学／工学部>

福井大学学則第 49 条、大学院学則第 32 条及び福井大学特別聴講派遣学生及び特別聴講学生規程第 7 条に基づき、派遣先大学で修得した単位を本学の授業科目の単位として認定される場合があります。単位認定には、帰国後、すみやかに所定の手続きが必要であり、申請書の提出を受けてから学内委員会での承認によって認定科目・単位が決定します。各学部専門教育や共通教育等で認定できる科目の条件が異なりますので、単位の認定を希望する学生は、必ず事前及び単位認定承認後に担当する責任教員等（講座主任、学年主任、学科長または助言教員）と相談し、履修計画について適切な指導を受けて下さい。

また、申請を円滑に行うため、留学中に派遣大学での「成績証明書」、「在学期間証明書」、「講義概要（写し可）」等を準備することをお奨めします。必要書類や手続き等については、教務課（文京キャンパス）または松岡キャンパス学務室（松岡キャンパス）へ事前に相談して下さい。

### <国際地域学部>

国際地域学部生は、交換留学の応募にあたり、学部指定の派遣要件を満たしている必要があります。また、単位認定にあたっては別途、単位認定手続きが必要です。

単位認定例：

留学先での修得科目	本学での認定科目
German	ドイツ語
Writing Review for Non-Native Speakers	ライティング
Daily Life in the English Speaking World	英語コミュニケーション総合 I
Ethnicity	多文化コミュニケーション

## ■ 奨学金

条件を満たす方については、各種奨学金を受給できる可能性があります。以下は、返済不要の給付型奨学金の一例です。ⅠとⅡは併給できません。

### Ⅰ. 日本学生支援機構海外留学支援制度による奨学金

- 対象 : 本学の学術交流協定校等へ交換留学をする者
- 条件 : 以下の全ての条件を満たしていること
- ・ 日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者
  - ・ 前年度の成績評価係数（総登録単位数）が 2.3/3.0 以上
  - ・ 語学力が原則 TOEIC400 点以上、または前年度の英語の成績が 2.3/3.0 以上
  - ・ 家計基準（原則、日本学生支援機構第二種奨学金支給基準に準じる）をクリアするもの
- 支給人数 : 支給可能人数には上限があるため、選考点上位者より支給を決定する
- 支給額 : 【甲地域】8万円/月 （例）アメリカ、フランス、ドイツ、イタリア  
【乙地域】7万円/月 （例）リトアニア、ポーランド、ルーマニア、ロシア、カンボジア、インドネシア、韓国、マレーシア、タイ、ベトナム  
【丙地域】6万円/月 （例）台湾、中国、マカオ、モンゴル、ブルネイ
- 選考時期 : 学術交流協定校への交換留学が決定した時点で選考

### Ⅱ. 福井大学学生海外派遣支援金

（※平成 29 年度後期募集以降の詳細は未定のため、前期募集による例。）

- 対象 : 本学の学術交流協定校等への交換留学をする者、本学で単位付与がある研修プログラムに参加する者
- 条件 : 以下の全ての条件を満たしていること
- ・ 日本国籍を有する者又は日本への永住者
  - ・ 学業成績が優秀で人格等に優れている者
  - その他については、募集要項を確認すること
- 支給人数 : 支給可能人数は予算の範囲内のため、選考による上位者より支給を決定する
- 支給額 : 留学期間が 6 か月以上の場合 : 15 万円
- 募集時期 : 前期（5 月頃）・後期（11 月頃）毎に募集。渡航を開始する期に各募集要項を入手の上、各自が申請すること。

上記の奨学金以外にも、福井県や民間企業等が提供する奨学金制度等もあります。海外留学のための奨学金一般については、日本学生支援機構のウェブサイトをご確認いただき、各自でご応募をお願いします。国際課でも情報提供をしています。 URL: <http://www.jasso.go.jp/>

## ■ 留学前・留学中・留学後の支援

留学前	留学先の大学決定後は、各留学先大学の案内に基づき、個別に出願書類の準備や渡航にかかる準備をサポートすると同時に、交換留学者を対象としたオリエンテーションを実施します。
留学中	本学教職員及び、学術交流協定校の教職員が連携し、サポートする体制を整えています。
留学後	留学先での経験を最大限に活かすことができるようアドバイスしています。

## ■ 報告書の提出

留学中は、大学指定の様式による月次報告書の提出、帰国後には成果報告書の提出をいただきます。

## ■ その他

交換留学に関するお問い合わせは、国際課までお願いします。

### <問合せ先・参加申込書類提出先>

文京・敦賀：国際課（大学会館1F）

Tel: 0776-27-8404 Email: [studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp)

松岡：国際課（管理棟1F松岡キャンパス学務室内）

Tel: 0776-61-8849 Email: [studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp)